## DEST AVAILABLE COPY

### 特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

代理人

特許業務法人池内・佐藤アンドパートナーズ

糂

あて名

〒530-6026

日本国大阪府大阪市北区天満橋1丁目8番30号 OAPタワー26階

PCT 国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]

発送日

(日.月.年)

07. 6. 2005

今後の手続きについては、下記2を参照すること。

出願人又は代理人

の書類記号 国際出願番号

H2356-01

国際出願日

PCT/JP2005/008278 (日.月.年) 02.05.2005

優先日

(日.月.年) 25.05.2004

国際特許分類 (IPC) Int.Cl. 7 A 6 1 B 8/14

出願人 (氏名又は名称)

松下電器産業株式会社

1. この見解書は次の内容を含む。

▶ 第Ⅰ欄 見解の基礎 Г

第Ⅱ欄 優先権

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

第IV欄 発明の単一性の欠如

▼ 第V欄 PCT規則 43 の 2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、

それを裏付けるための文献及び説明

第VI欄 ある種の引用文献

第7組欄 国際出願の不備

第2個 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規 66.1 の 2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解審を国際予備審査機関の見解書とみなさ ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解書を作成した日

23.05.2005

名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区蔵が関三丁目4番3号 特許庁審査官(権限のある職員)

神谷 直熱

電話番号 03-3581-1101 内線 3290

2 Q

9310

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

# BEST AVAILABLE COPY

国際調査機関の見解書

第 Ⅰ 欄 見解の基礎	·							
•								
1. この見解書は、	下記に示	す場合を除くほ	か、国際出願の	) 言語を基礎とし	て作成され	た。		
「 この見解書! それは国際語	は、 <u>──</u> 関査のた≀	めに提出された」	語による翻訳文 P C T 規則12.3	で基礎として作 及び23.1(b)にv	成した。 いう翻訳文の	言語である	•	
2. この国際出願で 以下に基づき見が	開示され 解書を作	かつ請求の範囲 成した。	に係る発明に不	可欠なヌクレオ	チド又はア	ミノ酸配列に	関して、	
a. タイプ	Γ.	配列表				٠		
	Г	配列表に関連	するテーブル					
b. フォーマット	Γ	書面	•					
	_	コンピュータ	読み取り可能な	形式				
こ.提出時期	Γ-	出願時の国際と	出願に含まれる	·		•		
	Γ			一夕読み取り可	能な形式にし	こり提出され;	<del></del>	
							-	
「 さらに、配列 た配列が出願 あった。	厂 を又は配決 時に提出	出願後に、調査	をのために、こ( テーブルを思り	の国際調査機関			しくは追加し い旨の陳述書	て提出し の提出が
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する	をのために、こ( テーブルを思り	の国際調査機関			しくは追加し い旨の陳述書(	て提出し の提出が
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する	をのために、こ( テーブルを思り	の国際調査機関			しくは追加し ^旨の陳述書(	て <b>提</b> 出し の提出が
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する	をのために、こ( テーブルを思り	の国際調査機関			レくは迫加し <b>↑旨の陳述書</b> ○	て提出し の提出が
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する	をのために、こ( テーブルを思り	の国際調査機関			しくは追加し い旨の陳述書:	て提出し の提出が
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する	をのために、こ( テーブルを思り	の国際調査機関			しくは追加し ^旨の陳述書	て提出しの提出が
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する	をのために、こ( テーブルを思り	の国際調査機関			しくは追加し ^旨の陳述書(	で提出しが
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する	をのために、こ( テーブルを思り	の国際調査機関			レくは迫加し ^旨の陳述書	て <b>提</b> 出し の <b>提</b> 出が
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する した配列と同一	をのために、こ テーブルを提出 である旨、又は	の国際調査機関 けした場合に、出 は、出願時の開示	は顧後に提出 で超える事	した配列若 ( 項を含まな <i>)</i> ·	レくは追加し ^旨の陳述書	て <b>提</b> 出し の <b>提</b> 出が
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する した配列と同一	をのために、こ テーブルを提出 である旨、又は	の国際調査機関	は顧後に提出 で超える事	した配列若 ( 項を含まな <i>)</i> ·	しくは追加し ^旨の陳述書	て <b>提</b> 出し
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する した配列と同一	をのために、こ テーブルを提出 である旨、又は	の国際調査機関 けした場合に、出 は、出願時の開示	は顧後に提出 で超える事	した配列若 ( 項を含まな <i>)</i> ·	しくは追加し ^旨の陳述書	て提出した。
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する した配列と同一	をのために、こ テーブルを提出 である旨、又は	の国際調査機関 けした場合に、出 は、出願時の開示	は顧後に提出 を超える事	した配列若 ( 項を含まな <i>)</i> ·	↑旨の陳述書(	て提出しの提出が
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する した配列と同一	をのために、こ テーブルを提出 である旨、又は	の国際調査機関 けした場合に、出 は、出願時の開示	は顧後に提出 を超える事	した配列若 ( 項を含まな <i>)</i>	↑旨の陳述書(	て <b>提</b> 出が
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する した配列と同一	をのために、この テーブルを提出 である旨、又は	の国際調査機関 けした場合に、出 は、出願時の開示	は顧後に提出 を超える事	した配列若 ( 項を含まな <i>)</i>	↑旨の陳述書(	て <b>提</b> 出が
あった。	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する した配列と同一	をのために、この テーブルを提出 である旨、又は	の国際調査機関	は顧後に提出 を超える事	した配列若 l 項を含まな/	↑旨の陳述書(	て提出が
に を	長又は配え	出願後に、調査 列表に関連する した配列と同一	をのために、この テーブルを提出 である旨、又は	の国際調査機関	は顧後に提出される事	した配列若 l 項を含まな/	↑旨の陳述書(	て提出が

### **SEST AVAILABLE COPY**

国際調査機構	関の見	解离
--------	-----	----

国際出願番号 PCT/JP2005/008278

第	V欄 新規性、進歩性又は産業上 それを裏付る文献及び説明	の利用可能性	についてのPCT規則 43 の 2. 1(a)(i)に定める見解、	
1.	見解			
	新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-5	. 有
	進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-5	有無
	産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-5	有無

#### 2. 文献及び説明

#### 請求の範囲1-5

超音波診断装置において、配列振動子から送信ビームの偏向角が大きくなるに従い、並列受信における複数の受信の指向方向相互間のなす角度を狭くする制御技術は、国際調査報告書に列記したいずれの文献にも記載も示唆もされていない。